

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	高田 昌代 教授 井上 理絵 准教授 池田 智子 准教授 蚊口 理恵 助教 林 由紀 助教 田中 美沙
開 講 期 間	前期	開 講 曜 日・ 時 間	水曜 16:30～18:00
対 象 学 年		募 集 人 員	
教 室		キ ャ ン パ ス	神戸市看護大学

授 業 形 態	対面授業																
授 業 方 法	講義																
学 習 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウィメンズヘルスの必要性、セクシャル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (SRHR) を説明できる 2. 自分のジェンダーを知る 3. 男女共同参画の施策を説明できる 4. 月経にまつわる障害とその対処を説明できる 5. 人工妊娠中絶と避妊の概要、女性の心理、論理的対応を説明できる 6. 出産時の陣痛促進剤、会陰切開と女性の意思決定支援を説明できる 7. 不妊治療やそのトレンド、不妊治療を受ける女性の心理およびその影響を説明できる 8. ドメスティック・バイオレンス・性暴力被害の概要、その影響要因、ケアの実際を説明できる 9. 更年期女性の健康の概要、その対処を説明できる 10. 障害のある女性の健康の権利やそのケアについて説明できる 																
授 業 概 要	ジェンダーの視点で、乳幼児期、思春期、成熟期、更年期、老年期における女性の健康問題を考える。これらの内容を通して、女性が健康に生きていくことの理解を深める。さらに、女性の健康を社会的な視点からも捉え、社会問題としても考える。																
科 目 の 目 的 及 び ね ら い	女性におこる様々な健康問題を取り上げ、その現状、女性の健康に影響を及ぼす要因、課題などを深く考察する。さらに、ジェンダーの視点からも女性の健康についての理解を深める。																
事 前・ 事 後 学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内の女性センター / 男女共同参画センターへの訪問・見学を行う。 ・ 2回目以降、授業回毎にそのテーマに関する女性の声を書籍、Web、インタビューなどを用いて収集する。 																
授 業 計 画	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>ウィメンズヘルスとは / リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方、ジェンダーと女性の健康、男女共同参画とは、神戸市男女共同参画センターの役割 (ゲスト：神戸市男女共同参画センター長)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>月経にまつわる障害とその対処</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>人工妊娠中絶と避妊</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>陣痛促進剤、会陰切開とお産</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>不妊にまつわる悩み</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ドメスティック・バイオレンス・性暴力被害とケア</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>更年期女性の健康</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>障害のある女性の健康</td> </tr> </table>	1	ウィメンズヘルスとは / リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方、ジェンダーと女性の健康、男女共同参画とは、神戸市男女共同参画センターの役割 (ゲスト：神戸市男女共同参画センター長)	2	月経にまつわる障害とその対処	3	人工妊娠中絶と避妊	4	陣痛促進剤、会陰切開とお産	5	不妊にまつわる悩み	6	ドメスティック・バイオレンス・性暴力被害とケア	7	更年期女性の健康	8	障害のある女性の健康
1	ウィメンズヘルスとは / リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方、ジェンダーと女性の健康、男女共同参画とは、神戸市男女共同参画センターの役割 (ゲスト：神戸市男女共同参画センター長)																
2	月経にまつわる障害とその対処																
3	人工妊娠中絶と避妊																
4	陣痛促進剤、会陰切開とお産																
5	不妊にまつわる悩み																
6	ドメスティック・バイオレンス・性暴力被害とケア																
7	更年期女性の健康																
8	障害のある女性の健康																

評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ●プレゼンテーション評価 (30%)。プレゼンテーションをしたい内容を選択し、当日3名がPPTを用いてプレゼンテーションを行う (5～10分/人)。授業までにパワーポイント資料を提出。 ●女性センター/男女共同参画センターレポート (30%)。自分で決めた地域の女性センター/男女共同参画センターレポートの「テーマ①どこに行ったのか、センターの概要②センターに行ったことの感想③センターが女性の健康に果たす役割を考える」。 ●最終レポート (40%)。科目内容の中からテーマを選んで、A4 2枚にまとめる。
教科書	特になし
参考図書	「女性の看護学」：メヂカルフレンド社 「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」：メディカ出版 「ドメスティック・バイオレンスの視点」 朱鷺書房 これ以外の参考文献、参考資料などは授業中に指示します。プリント資料を配布します。
教員から学生へのメッセージ	講義だけでなく、ワークや視聴覚をたくさん取り入れたいと思っています。社会の中で、女性自身も気づかない健康課題が山積しています。アンテナを高くもち、事象から分析する力を養ってください。自分で決めた地域の女性センター/男女共同参画センターに見学に行ってください。そのセンターの研修を受講してみるのも理解を深めるひとつになります。
履修条件	
特記事項	